

十年間好きなだけイキらせてきた義妹を
ついにワカラせる時が来た

～ 種付けレ●プ編 ～





- 作中には、犯罪的な描写、暴力的な描写が含まれています。模倣などを行わない、フィクションと現実の区別がつく方のみご覧ください。
- 18歳未満の方の購入、閲覧を禁止します。
- 無断での転載、複製、ネット上へのアップロードを禁止します。
- 登場人物はすべて18歳以上です。



いって
きまーす…

オレの名前は
和空瀬 タクヤ
25歳

実家暮らしの
会社員

ごはっ!!

いいから
早く行けっ!!

バカ
タクヤ!!

はあ…

仕事
行きたく
ねえなあ…

カツ



オレの父親の
再婚相手の
連れ子だ





みつきと
初めて会った
のは十年程前…



ワカラせる
ときがっ!!!



みつき
挨拶しなさい

ふんっ

生意気な
ガキだ…

とは思った

…が
あまりの
可愛さにオレは
一瞬で一目惚れ
してしまった

その後オレは
必死にみつきと
仲良くする
ようにつとめた

父親と新しい
母親に心配を
かけないため
というのも
あったが

それ以上に
オレ自身が
みつきと
仲良くなり
たかった



しかし…

これが生来の
性格という
もののなか…

優しくすれば
するほど

みつきはどんどん
オレにイキリ散らかす
ようになっていった

ここ数年はもう
ほとんどゴミ
扱いと言って
いいレベルだ

なぜか？

理由はただ
ひとつ…

だがそんな
状況でもオレは
みつきの好きに
させてやった…

「将来…絶対に
みつきをオレの
モノにする」

そう心に
決めていた
からだ

いつの日か…

猛烈な逆転ワカラセ
レ●プをキメてやり…

一生オレの嫁
兼メス奴隷として
生きていくことを
誓わせる

日頃の屈辱は
「その日」に
千倍返しして
やればいい

そう思うことで
なんとか怒りを
興奮へと転換し
やり過ごしてきた

この十年間…
「その日」のことを
想像しなかった夜は…

孕め
オラア
アアア!!

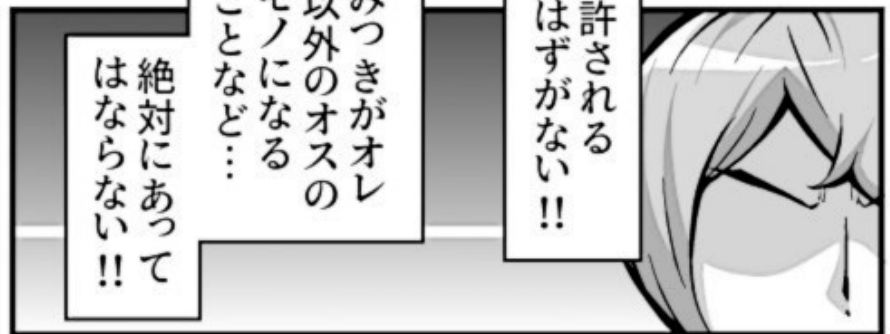
一度たりとも
なかった



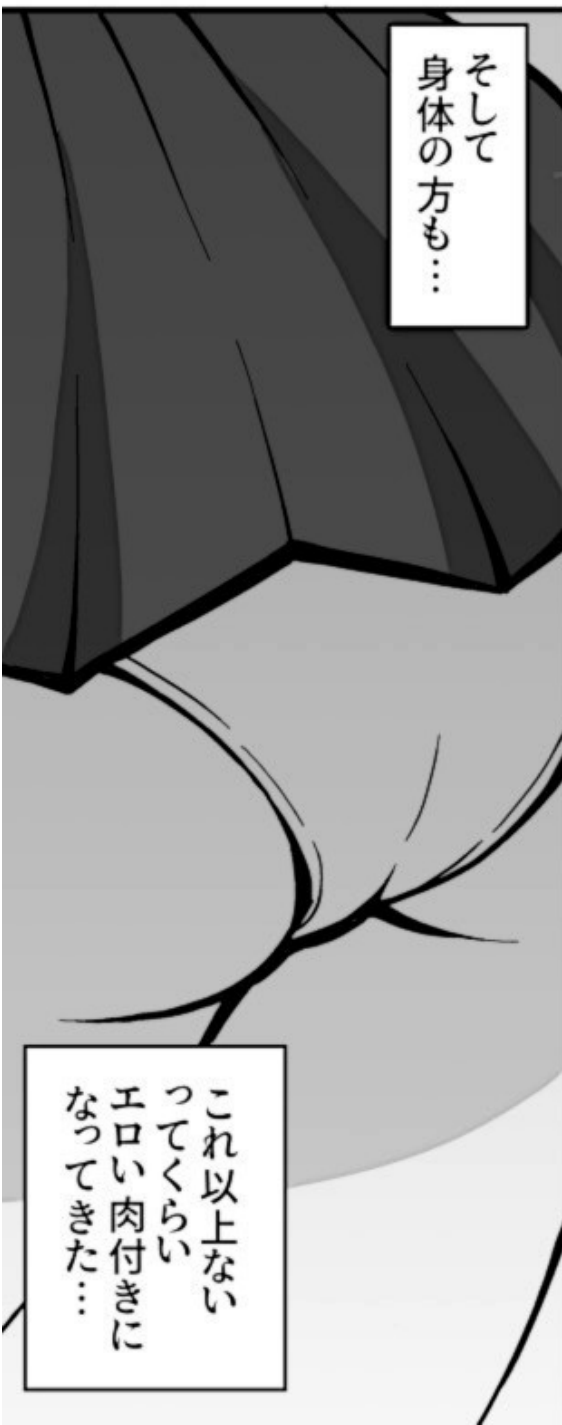
許される
はずがない!!

みつきがオレ
以外のオスの
モノになる
ことなど…

絶対にあって
はならない!!



そして
身体の方も…



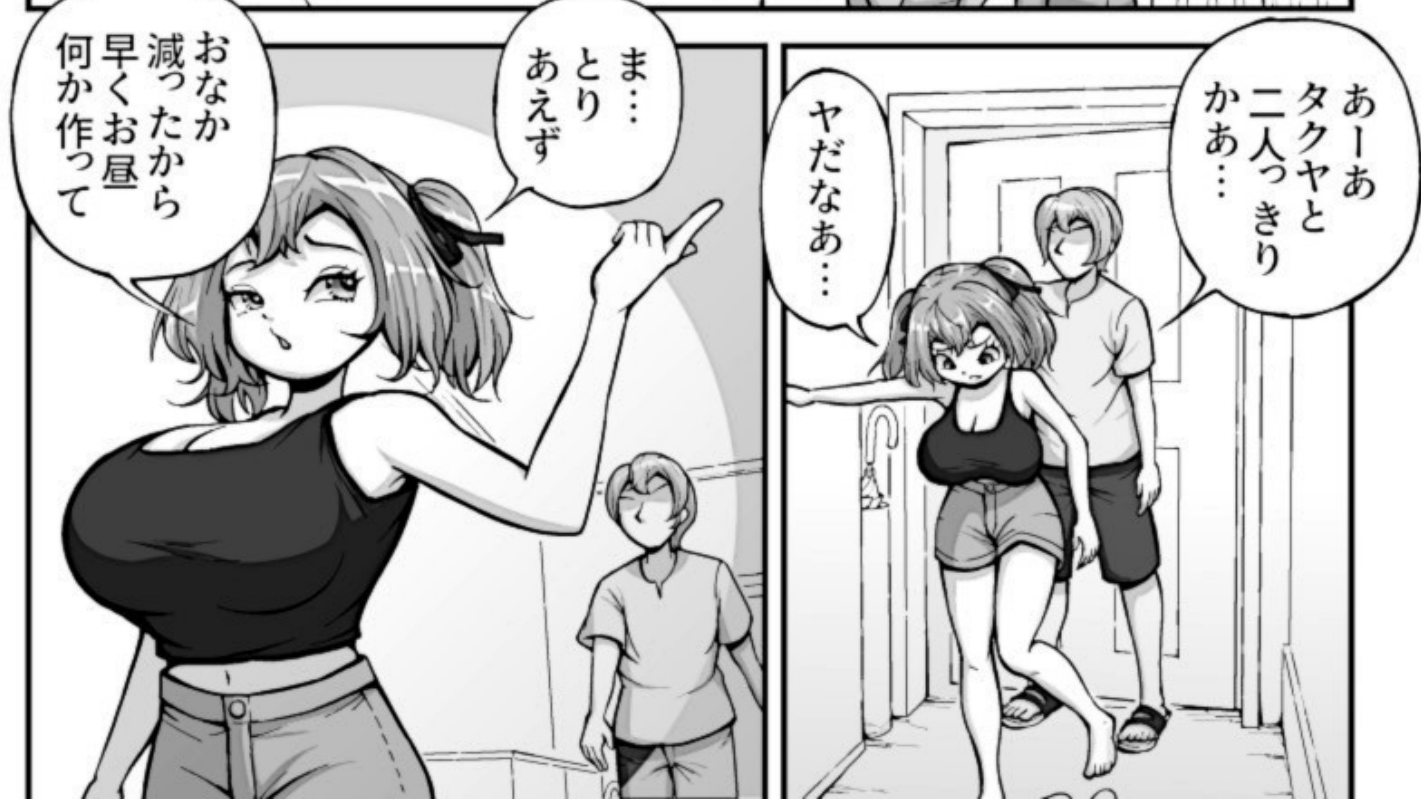
みつきは今年で
●5才になった

義務教育も
終わったし

種付けも可能



これ以上ない
つくくらい
エロい肉付きに
なってきた…





よおしし…
ヤルぞ…っ!!



くく…
何も知らずに
呑気にイキつて
やがる…



徹底的に
ワカラせて
やるからな!!



ヤッて
やるぞおっ!!



この
二日間で…

お前がオレの
所有物で
あること…

みつきいい
いいーっ!!!





やめてっ！
何でこんな
ことするのよ！？

あ？

お前がいつまで
経ってもイキッた
まんまだから

兄としてそろそろ
ワカラせてやん
ないといけないなと
思ったんだよ

っーことでっ！
まずは種付け
キメるところから
始めるぞ！

グイクッ

た…
種付けっ！？

バカッ！！

頭おかしく
なったん
じゃないの！？

冗談
やめて！！

冗談？

このガチ勃起
見てもそう
思うかつ！？

ひいっ！！

おーし
いくぞう！

みつきっ！

お前の●5才
キツキツ新品
ミニマンコにつ！

お兄ちゃんの
超極太チ●ポ
思いつきり
ぶち込んで
やるからな！！

凄まじい興奮で
全身が燃え
あがりそうだ…

痙攣する
メス穴…

震える乳房…

妄想ではない…

目の前にあるのは
まごうことなき
現実世界の
みつきの肉体…！

はへっ
…！

はへっ
…！

ついに…
ついに…
来たのだ…

この瞬間…!!!

十年間
待ち続けたっ…！



入った…!!



おああ
ああ…♡

おあっ♡

これがっ
…!!
みつきの肉!!



この
柔らかさ!

この
肌ざわり!



この
温もり!



これがっ
…!!
みつきの
マ●コ!!

この
締めり!

この
吸いつき!



この
ぬめりっ!

きぼち
いいっ!!

きぼち
よ過ぎるうあ
ああああ
!!!

想像は遥かに
超える快感!

これが
セックス!

これが
ワカラセ
●プラセ

十年も耐えた
甲斐があった!

十年耐えた
からこそ...

この征服感!!

この優越感!!

この解放感!!







どうやら
種付けが成功
したようだ

みつき
いいっ!!

よかった…

本当に
よかった…

これでもう
他のオスに
みつきを奪われる
心配もなくなった



ああ…
なんだこの
幸福感…

涙が出てくる…



種付け成功の
余韻が収まらない
オレは

オレの遺伝子が
入ったオレ専用の
メスツ♡

オレのメスツ♡

はっ♡
はっ♡

その後も本能に
身を任せみつきを
プレスし続けた



うほあっ♡

うっ!

射精るっ!!

ガシィ



みつきからは
あのイキツた様子は
まったく感じられ
なくなっていた

はっ!

はっ!

5時間は
プレスした
だろうか

ふっ...

気がつけば
日が沈んで
いた

ひとまず己の無力さを
ワカらせることはできた
と言っていいだろう



オレは
台所に
移動する
ことにした

一旦
栄養補給を
するため

おっ
いいっ

後ろから
突くのも
いいっ

ガシッ! ガシッ! ガシッ! ガシッ! ガシッ!

手短に
栄養補給を
済ませる

ゼリー飲料と
スポーツ
ドリンクで



すぐさま
鬼ピストンを
再開させても
よかったが...

まだ先は長い

オレは
リビングに
移り...



休憩がてら
母乳搾りを
楽しむこと
にした

しばらく
ソファに
座って









●5才
妹ナマ母乳！
うま
過ぎるっ!!

はあっ……!!
はあっ……!!

ぷはへあっ!!!



めちやくちや
マ●コ締め
つけてきたから

精子飛び
出ちまった
じゃないか

みつきも
人生初の
噴乳:

気持ち
よかった
みたいだな



ふーっ……

はあ……
なんて
幸せな
時間だ……

ああ……
また嬉し涙が
出てきた……

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

誰かから
メッセー
ジが
きたよう
だ

が飲乳を
ていると
テーブルの
上にあつた
みつきの
スマホが
震え始めた

ん？

もしかして
例の彼氏
からか……？

ダツ：
ダメエツ
!!

ひ
い
っ
!!

見ない
でええええ
ええ!!!

やめてっ
!!!

やめてっ
!!!

!?

メッセージを
見ていくと

意外な
事実が
判明した

まず…

昨日みつきが
「彼氏」と
言っていた
メッセージの
相手は…

どうやら
彼氏ではなく
ただの同級生の
男子ようだ



そしてみつきは
その男子から
告白された…が

「すでに好きな
人がいる」
という理由で
それを断った…

…って
なんだと!?

その
「好きな人」
ってのが…

オ…

オレのこと!?

もう一度
あるから
てくれないか?

今日

なあ。お前が昨日言ってた
好きな人ってお前の兄さんの
ことだよな?

本気なのか?
って大丈夫なのか?

みつき
お前っ!!

オレのこと
好きだった
のか!?

グ
イ
ッ
!!

ハ
ッ
ッ
ッ

オレの言葉を
聞いた途端に

みつきの
マ●コが急激に
締まり始めた

みつきは
口を開けな
かったが…

オレは互いの
性器を通じて…

その思いを
感じ取った

みつきはずっと
オレのことが
好きだったのだ…

間違い
ない…

み…
みつき…

潤んだ
みつきの瞳と
向かい合った
瞬間…

オレの中で
何かが弾けた…



みつきい
いいー!!!

うおおお
おおおー!!!



好きだ!!

好きだ!!

好きだ!!

完全に
無意識
だった…

愛してる!!!

気がつけば
オレは愛の言葉を
叫びながら

みつきを犯し
回していた

愛してる!!!

一生
オレの
モノツ!!!

オレの
モノツ!!!

オレが心の
奥底で

これほどまで強く
みつきのことを
愛していたとは…

自分自身でも
認識できて
いなかった

絶対に
手放さ
ない!!!

いや
今思えば…

「認識しない
ようにしていた」
のだろう

みつきの
年齢…

家族の
関係…

そういったことを
考えると早まって
過ちを犯すことは
できない

だから「その感情」
だけは無意識に
封印していたのだ
これまでずっと…

オレの嫁っ!!

オレの嫁っ!!

強制結婚っ!!

そして
それは…

おそらく
みつきも
同じだった
のだろう



解き放たれた
十年分の思いを
届けるべく…

一撃一撃
魂をこめて
膣奥を
突いていく

おほっ♡

おほっ♡

射精るっ♡

射精るっ♡



うほあああ
ああ♡♡♡

そしてみつきも
またその思いに
応えるように

全力で膣を締め
精液を己の体内に
噴射させていく





みついいいい
いい——っ!!!

カッ
カッ

ゴッ!!



おっ
おっ

好きだっ♡

好きだあ
——
♡♡♡
あああああ

そこから
先のことは
よく覚えて
いない

夢のような
幸福感の中…
ただひたすらに
性器を擦り続けた

愛するメスの
その小さな肉穴で

ゴッ!!



おふっ!?



翌朝…

チーン…

チーン…



うほああ
あっ♡♡



はあーっ…

はあーっ…

そのまま眠りに
ついてしまっ
たようだ…

どうやら
みつきを
犯し回して
いるうちに



おっ♡

爽快な
射精とともに
目が覚めた

おっ♡

この柔らかな
肉の感触…

この濃厚な
母乳の味…

んぶっ♡

んぶっ♡

シク
レツ♡

シク
レツ♡

ぷはっ！

ドッ

ついにオレは
みつきを
自分のモノに
したのだ…！

間違いない…

夢ではない…





ううっ…

サイテー…

バカ
タクヤ…

あれっ？

まだ
イキってる

強情だな
お前も



お兄ちゃんの
精子が欲しくて
必死でマ●コ
締めてたヤツが
よく言うぜ

本当は
大好きな
お兄ちゃんの
メスにして
もらえて

嬉しくて
たまらない
んだろ？

そんなこと
ないもん…



おいおい
嬉しそうに
マ●コひくつかせ
ながらそんなこと
言っても…

説得力
ないぞ！

それに…
「彼氏がいる」
なんてウソ
ついたのも…

お兄ちゃんに
早くワカラせて
欲しかったから
やったんだろ？

グッ！？

グッ！？

グッ！

はぎや
あっ!!

おほっ!

図星つかれて
精液噴水しや
がった!

かわいい
なく♡
お前は♡

あ…
あ…

ようし
そんじゃあ
そろそろっ…

上の口も
下の口と同じ
くらい素直に
なるように…

鬼調教
始めるか!

ウソ…?

まだ
やるの?

当たり前
だろ

昨日が
レ●プ日

今日が
調教日だ

むしろ
こっからが
本番だぞ

昨日以上に
お前のこと
グチャグチャに
するけど…

今後の幸せな
主従関係を
築くために
必要なこと
なんだ

頑張るん
だぞ♡

ひ…

おしし…

まずは素直に
「お兄ちゃんのこと好き」って
言えるようになるまで…

エンドレス
首絞め
ピストンから
いくかあつ！

カッ！

グッ…!!

ミニチュ…♡

た…たしゅ…
けて…

この一日
でっ…!!

ブッ！

十年間で
染みついた
生意気な
その性格…

終わり

カッ！カッ！カッ！カッ！

次回
「鬼調教編」に
続く…

完全修正
してやる
からなー!!!

ゴッ！！

サークル紹介

MURAIMURARA

純愛レ●プ or 無差別レ●プ



シリアスレ●プマンガ
ゴー激2

シリアスレ●プマンガ
ゴー激1



アクロバティックに…

一方的に…

激しくやりたい人へ…